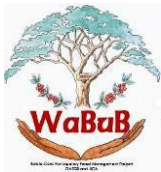


WaBuB PFM News

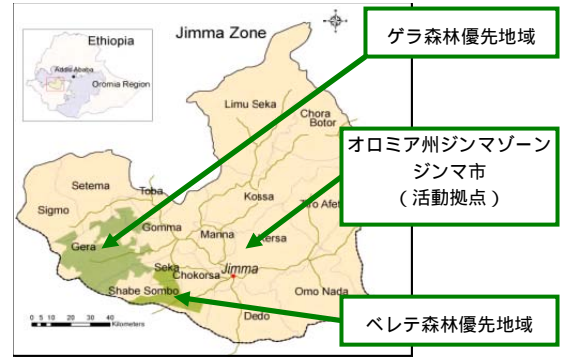
~ Respect Local People's Knowledge for Sustainable Forest Management ~



JICA 技術協力プロジェクト

エチオピア ベレテ・ゲラ参加型森林管理計画フェーズ2

2009年1月5日発行 (第24号)



ベレテ・ゲラ巡業 ~ 高地森林の巻 ~

ベレテ・ゲラの森林といえば、「森林コーヒー！」と思われる方もいるかもしれませんが、プロジェクトで対象としている43村の中13村は、コーヒーの生育が困難な高地(標高 2300~2600m程度)に位置しています。これら高地では、コーヒーに代わる現金収入源が求められている他、市場から遠く離れた僻地にあるなど、森林管理における課題の多いエリアです。

ゲラ郡チラの町から5時間ほど歩き、ようやくガダ・グテ村に入る。標高2600m近くの高地だが、意外と森林が残っていることに驚かされる。中でも目立つのが、Highland Bamboo(第11号参照)と称される竹である。家だけでなく敷地を区分けするフェンスも竹で作られており、要塞のような景観を見せている。しかし集落に近づくと、無秩序に竹が伐採されて痛々しい荒地が目立ち始める。普及員によれば、「このあたりは見事な竹林が広がっていたが、ここ数年の間に眺めが一変してしまった...」とのこと。日本の竹は地下茎と呼ばれる根のような組織が地中で伸びて竹が増えるが、この竹は株から一斉に生え、同じ株の竹を伐り尽くしてしまうと再生は難しい。マットやカゴなどの竹細工の作り方を農民に訓練し、それを収入源の一助にする生計向上活動の導入も考えられるが、まずは竹の管理ルールや適切な利用方法を取り入れていくことが、早急に必要であろう。



無秩序に伐採された竹林



一家を追い出すべきか？



新しい切り株が散在する



薪炭としての竹を担ぐ女性

ガダ・グテ村から更に3時間ほど、ゲラ森林の西端にガバ・コロ村がある。株を切り尽くすと再生は困難ここではつい最近、約10名の違法移住者が逮捕されたばかり。普及員に連れられて森の中を歩くこと約1時間、突如として広大な農地が現れた。小麦の収穫前らしく、一面が銀色に輝いている。約15世帯でクコという名の集落を築き、どの家族も最近、隣のシグモ郡から移り住んできたらしい。家長が逮捕されて辺りは静まり返っているが、家の周りで子供らがちょろちょろと走り回っている。ある婦人に話を聞く。「シグモ郡から10年前に移り住んできて、今じゃ子供が9人もいるのよ！この森林から出て行けって言われたって、どこに行けばいいのよ！」と言う。散在する切り株はどう見てもつい最近のものである。住居だけでなく屋根だけの仮の小屋(まず家長だけが移り住んで農地を確保し、家ができた段階で家族を呼び寄せ)が森の端に目立ち、その近くの木はどれも幹が故意に傷つけられ、放っておけば続々と移住者と伐採が広がることは明らかだ。すでに住居を立てて移り住んでいる人々の居住権は認めるべきなのか？しかし、そうすれば他の合法的に住んでいる村人が納得しないだろう。他の村でも「WaBuB ができる前に伐ったもん勝ち！」という風潮が流布し、違法移住と伐採を加速させることにもなりかねない。森林保全のためには、やはり厳しい措置が必要だろう。でも、家と土地を失った家族はどうなるのだろうか？森を守るがために、一部の農民をさらなる貧困に陥れても構わないのだろうか...。森林管理は、ジレンマとの戦いとも言える。

ガバ・コロ村からの帰り、勢いよく流れる清流に出くわす。細い丸太をおっかなびっくり渡りながら、「この水の流れが、どれだけの人々に恩恵をもたらすのだろう...」と思いを馳せる。森から浸み出す幾つもの湧水や地下水が川となって流れ出て、おそらく何十何百キロにも渡る流域の人々へ飲み水や農業用水をもたらす。もし違法な移住と伐採を認めてこの森が無くなってしまったら、多くの人々の生活に影響を及ぼすだろう。また、森からは蒸散と言って木々の葉から水蒸気が発生し、周辺に雨を降りやすくするなど微気象にも影響している。よく「森林管理のプロジェクトを実施することで、何人が裨益するのですか？」と聞かれるが、愚問と言わざるを得ない。アマゾンやコンゴの森の伐採が、南極の氷や日本の台風にまで影響を与えていると言っても過言でない昨今、ベレテ・ゲラの高地森林もかけがえのない価値を持っている。WaBuB がしっかり機能し、人々が誇りをもって森林を管理できる仕組みは何なのか...、改めて見直す時に来ている。(吉)



この水の流れは、どれだけの人々に恩恵をもたらすのか...

WaBuB は、現地オロモ語で(地域住民により組織される)森林管理組合の略称、PFM(Participatory Forest Management)は参加型森林管理の略称です。よって、WaBuB PFM は、本プロジェクトが確立・普及を目指す WaBuB による参加型森林管理方法を意味します。

WFSをもっと面白く！～紙芝居作りをしています！～

農民の学校WFSの第1ラウンドがいよいよ終わろうとする中、これまでの反省点の1つとして「Today's Topic」の機会がほとんど機能していなかった点が挙げられます。毎週のセッションの中で、メンバーへ新たな知識や視点を提供すること(森林管理や農業に限らず保健や識字などメンバーの興味に応じて)を目的にしていますが、普及員の情報や教材が不足していることもあり、ほとんど行われていませんでした。そのために、「キャッサバを薦められて植えたけど、どこに実がなるの?」「野菜をWFSで栽培したけど、メンバーは自分達で食べることはなく売だけ...」といったコメントがありました。

これまでもWFSの教材作りなどで支援をして下さっている小川短期専門家が赴任し、Today's Topicで有効に活用するための教材作りが始まりました。WFSメンバーの大半が読み書きのできない非識字者であることを考慮し、教材と言ってもパンフレットのようなものでなく「紙芝居」で分かり易く簡潔に情報を提供することを目指しました。まず普及員などからニーズ調査をしてみると、農業関連以外にも、「質の高い革製品の作り方」「家族計画、HIV、衛生」「木酢液の作り方(防虫用)」など多岐に渡りました。ここから優先度の高いものをピックアップして、サンプル作りを行いました。例えば、「キャッサバの料理の仕方」では、実際にWFSを実施している村へ行って「お料理教室」をしました。ケニアなど東アフリカではすっかりお馴染みになっているキャッサバ(根菜類)ですが、ベレテ・ゲラの農民にとっては栽培するのも初めてのようで、「木に実がなるんじゃないのか?」「どうやって食べたらいいんだ?」と困った様子。最も簡単にできる油で揚げた「キャッサバ・チップス」を紹介したところ、「これはなかなか美味しい!」「簡単にできる!」と好評でした。各WFSの中でこのように実演して味見までできれば、メンバーが簡単に理解し、普及させることができます。



キャッサバ・チップスの
お味はいかが?

キャッサバの他にも、ニンジンやキャベツなどの野菜も、不思議なほどに農民は食べていません。村で泊まった際に見ても、シュロワットと呼ばれる豆のソースばかりを食べています。野菜の摂取は妊婦や栄養失調の子供にとって重要な栄養だと思のですが、栄養に関する理解が不足している他、野菜の調理方法についてもよく知らない農民が多いようです。そのため、「野菜の栄養価表」や「お勧め野菜調理法」についても、今後、教材として紹介していく予定です。

また、普及員が自分達で持っている教材や知識を活用し、それらを分かり易く農民に伝えることも重要なスキルです。そこで、普及員が自分達で紙芝居を作り、分かり易く説明するための「技術向上ワークショップ」も実施しました。今後、プロジェクトによる教材作成・提供の他、普及員自身による教材の改訂やスキルアップを支援し、WFSをもっと楽しい場にしていきたいと思っています。(吉)



質の高い蜂蜜の作り方を
紙芝居で紹介

FAOプロジェクト訪問

ジンマから車で2時間ほどのところに、南部諸民族州のボンガ市があります。このボンガを拠点に、国際機関の食糧農業機関(FAO)がSustainable Land Management Project (SLMP)を実施しています。SLMPでも、森林優先地域での土地管理を効率的・効果的に実施するために、農民の組織化・土地管理契約・管理活動を含む参加型森林管理手法(PFM)を取り入れています。



対象地区の一つ Decha 郡:赤線内は、不法移住者による伐採・開墾で土壌侵食が激しかった場所。現在は、農民組織により定期的にモニタリングされ違法伐採の防止に繋がっている

SLMPの対象地区の集落を訪問しました。プロジェクトが実施されてどのような変化があったかという質問に、農民は以下のように答えてくれました。

- 農民組織が政府と土地管理に関する契約を結び、土地管理を保障されたメンバーが固定されたため、不法侵入や違法伐採が無くなった。
- 森林境界の確定作業や違法伐採の巡視を農民組織が参加して実施することにより、土地管理を自立して行うという意識が高まり、森を農民自身で子孫まで残そうと考えるようになった。

農民組織による苗圃作りも始まっており、森林保全の重要性に対する農民の意識は高まってきています。

一方、ベレテ・ゲラでは第1ラウンドの対象地区で組織化された森林管理組合が、政府と森林管理の仮契約を完了したばかりです。今後農民の森林保全に対する参加意識を高め、無秩序な伐採を無くしていくためには、農民組織による定期的な活動を確実に実施することが有効であるという貴重な示唆を受けた訪問となりました。(稲)

ベレテ・ゲラの有用樹種

Hexoo (*Hagenia abyssinica*)

ベレテ・ゲラの高地の到る所で、今の季節、Hexoo がピンク色の華やかな花をつけています。成長すると樹高 20m程の真っすぐな幹として成長するので建築材として価値が高く、植林もされている樹種です。また、伝統的に虫下しの薬としても重宝されてきており、こうした有用性が高地の農地でも切らずに残されている所以なのでしょう。コーヒーの栽培が困難な高地では、住民にとって森林を保全するメリットがどうしても少なく、農地を拡大することに心が向かいがちです。WFSを通じて農民がHexooの苗木を自分達で栽培管理して周辺住民に販売するなど、新たな仕組みを模索しています。(吉)

